1. 大学および高等専門学校の分布
2. 大学への入学者数
   大学の学生数
3. 図書館の分布
4. 博物館の分布
   市民会館・ホールの分布

1. 大学および高等専門学校の分布

1986年5月1日現在における我が国の大学および高等専門学校の総数は、1075校である。このうち、大学は465校、短期大学は548校、高等専門学校は62校である。また、大学院は287校に、夜間部は120校にそれぞれ併置されている。

それらの設立者別内訳は、大学（国立95校・公立36校・私立334校）、短期大学（国立37校・公立52校・私立459校）、高等専門学校（国立54校・公立4校・私立4校）である。

これらの学校の分布状態をみると、国立大学はすべての都道府県に設置され、東京都は12校・北海道は7校である。私立大学は41都道府県に設置され、最も多いのは東京都で91校である。短期大学は国立が28、公立が34の都道府県にそれぞれ設置されている。また、私立はすべての都道府県に設置され、最も多いのは東京都で76校である。高等専門学校は42都道府県に設置され、東京都と北海道は、それぞれ4校である。

大学・短期大学・高等専門学校は首都圏・近畿圏に集中し、東京都（190校）、大阪府（76校）、兵庫県（53校）の3都府県だけで、全体の29.7%を占めている。

大学とは、学校教育法により、学術の中心として広く知識を授け、深く専門の学芸を研究し知的・道徳的・応用的な諸能力を展開することを目的とする施設とされているものである。

高等専門学校とは、学校教育法により、深く専門の学芸を学び、職業に必要な能力を育成することを目的とする施設とされているものである。

〔凡例と作図の要点〕

1つの大学で、その学部が各地に分かれているものは、それぞれの所在地に記号を表示したが、同一市町村内にある場合は、同じ所在地としてまとめて表示した。

〔主な資料〕

1．文部省，昭和61年度学校基本調査報告書

2. 大学への入学者数

1986年5月1日現在における我が国の大学への入学者総数は、64万2979人（大学生43万6896人・短期大学生20万6083人）である。

大学への入学者の学校別内訳は、国立9万3249人・公立1万1633人・私立33万2014人である。また、高等学校卒業年次による内訳は、1986年3月の卒業者（現役）28万6700人（65.6%）、それ以前の卒業者（1浪以上）14万7194人（33.7%）、その他3002人（0.7%）は、外国の学校卒業者および検定試験合格者である。

短期大学への入学者の学校別内訳は、国立6021人・公立9442人・私立19万620人である。

男子・女子入学者の割合は、大学男子32万3777人（74.1%）・女子11万3199人、短期大学男子1万6600人・女子18万9483人（91.9%）になり、大学では男子学生、また、短期大学では女子学生が多い。

大学および短期大学への入学者数の都道府県別内訳では、最も多いのは東京都の15万9808人（大学12万1335人・短期大学3万8473人）で、大阪府・愛知県・神奈川県では、それぞれ4万人を越え、これら4都府県だけで31万1418人となり、全入学者数の48.4%を占めている。また、最も少ないのは島根県の1196人（大学1065人・短期大学131人）である。

入学者の自県内および他県内への入学率では、自県内への入学者数の最も多いのは北海道で大学 69%、短期大学92%である。自県内の最も少ないのは大学では滋賀県の6.3%で、短期大学では島根県の9.3%である。関東地方の各県は、自県および自地方の入学率の合計が90%を越えている。

〔凡例と作図の要点〕

入学先の地方とは、入学先の大学が出身高等学校以外の県にあること、また、自県とは、入学先の大学が出身高等学校と同一の県にあることを示す。

〔主な資料〕

1．文部省，昭和61年度学校基本調査報告書

2. 大学の学生数

1986年5月1日現在における我が国の学生総数は、227万5987人（大学生180万5261人・大学院生7万4271人・短期大学生39万6455人）である。

男子・女子学生の割合は、大学男子136万2833人（75.5%）・女子44万2428人、大学院男子6万4018人（86.2%）・女子1万253人、短期大学男子3万8554人・女子35万7901人（90.3%）になり、大学・大学院では男子学生、また、短期大学では女子学生が多くなっている。

学生数の都道府県別内訳では、大都市圏に多く、最も多いのは東京都の64万7105人で、大阪府・神奈川県・愛知県・京都府・福岡県を加えた6都府県だけで139万3800人となり、学生総数の61.2%を占めている。また、最も少ないのは島根県の4961人である。

学生総数に対する大学生の割合は79%で、都道府県別内訳では、最も多いのは東京都の85%で、最も少ないのは岐阜県の53%である。大学院生の割合は3%で、最も多いのは茨城県の9%で、最も少ないのは沖縄県の0.8%である。また、短期大学生の割合は18%で、最も多いのは岐阜県の44%で、最も少ないのは島根県の5%である。

〔凡例と作図の要点〕

在学者とは、大学・大学院・短期大学に在籍する学生である。

〔主な資料〕

1．文部省，昭和61年度学校基本調査報告書

3. 図書館の分布

1987年4月1日現在における我が国の公共図書館の総数は、1743館である。設置者別内訳は、都道府県立68館、市区町村立（広域市町村圏立を含む）1645館、私立30館である。都道府県立図書館は、すべての都道府県に設置され、最も多いのは東京都、京都府の各6館である。

この他に、車に蔵書を積載して移動する自動車図書館もすべての都道府県にあり、総数は582台で、多いのは埼玉県45台、北海道44台である。

公共図書館の都道府県別内訳では、最も多いのは東京都の300館で、最も少ないのは鳥取県の7館である。

国立の図書館では、国立国会図書館があり、本館、分館、支部など39館が国会、各省庁に設置されている。

公共図書館の蔵書の総数は、1億3329万冊である。1館あたり平均蔵書数は、都道府県立図書館31万2000冊、市区町村立（広域市町村圏立を含む）図書館6万7000冊、私立図書館6万3000冊である。

人口100人あたりの蔵書数（但し公立図書館のみ）の全国平均は109冊で、都道府県別では、最も多いのは富山県の228冊で、最も少ないのは沖縄県で61冊である。

自動車図書館の積載冊数の総数は105万冊で、1台あたり約1800冊を積載している。

国会図書館の蔵書数は、本館が426万3915冊で分館、支部、各省庁の蔵書を加えると、総数は839万3874冊である。

〔凡例と作図の要点〕

公共図書館とは、図書館法により一般の人々が利用できるものである。公共図書館は、本館・分館をそれぞれ1館として表示した。学校、会社などに付設する図書館は表示しない。国立国会図書館は、その中で公共性のある本館、上野図書館だけを表示し、分館、各省庁内のものは省略した。

〔主な資料〕

1．日本図書館協会，1982年日本の図書館

4. 博物館の分布

1987年8月1日現在における我が国の博物館の総数は、2574館である。このうち、登録博物館は516館で、博物館に相当する施設は212館である。

設立者別内訳は、国立6館・公立351館・私立340館・大学付属31館である。都道府県別内訳では、最も多いのは東京都の87館で、最も少ないのは徳島県の2館である。

博物館で最も多いのは美術博物館で、東京都に36館、長野県に16館など42都道府県に設置されている。また、最も少ないのは植物園の19園で、東京都・神奈川県・兵庫県に各2園など16都道府県に設置されている。

登録博物館とは、博物館法により登録され開館日数（年間150日以上）・学芸員の配置など、事業内容が法の基準に適合しているものである。博物館相当施設とは、文部省令により指定され、博物館に類似した事業を行う施設である。

〔凡例と作図の要点〕

博物館の内訳は次の通りである。

①総合博物館…総合・郷土博物館　②科学博物館…自然史・理工学・産業博物館　③歴史博物館…歴史・考古・民俗博物館　④美術博物館…美術博物館　⑤動・植物園、水族館…動物園・植物園・水族館

〔主な資料〕

1．日本博物館協会，昭和62年全国博物館園職員録
2．日本博物館協会，博物館研究　Vol 25．No.3

4. 市民会館・ホールの分布

1986年10月31日現在における我が国の市民会館およびホールの総数は、1036館である。このうち、客席が500席以上のものは809館で、所有者別内訳は、国12館、都道府県82館、市区町村625館、法人・会社・その他90館である。都道府県別内訳では、最も多いのは東京都の93館、最も少ないのは鳥取県の4館である。国の施設は、東京都の5館など7都道府県に設置されている。都道府県の施設は、愛知県の10館など37都道府県に設置されている。また、法人・会社の施設は東京郡（37館）に集中している。

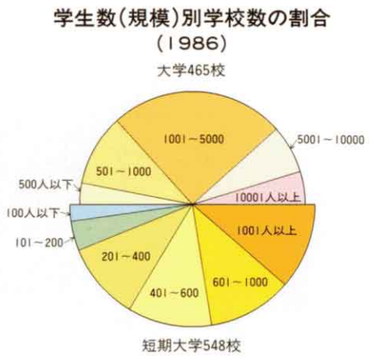
〔凡例と作図の要点〕

市民会館・ホールは、客席500席以上の設備を持つものを表わし、同一施設で複数の設備を持つものは、1館として扱った。

〔主な資料〕

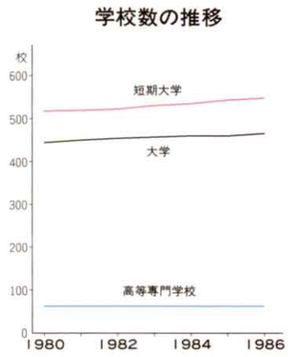
1．日本ホール協会，昭和61年度全国ホール名鑑

学生数（規模）別学校数の割合（1986）



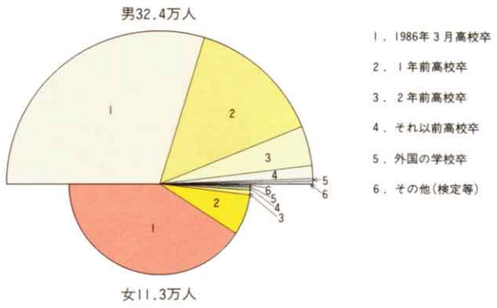
（学校基本調査報告書から作成）

学校数の推移



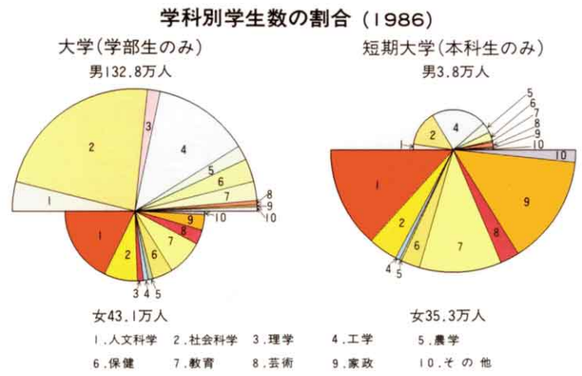
（学校基本調査報告書から作成）

大学入学者の高校卒業年次別の割合（1986）
（短期大学生は含まず）



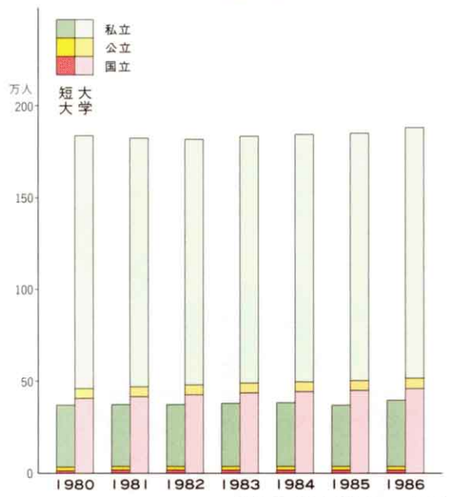
（学校基本調査報告書から作成）

学科別学生数の割合（1986）



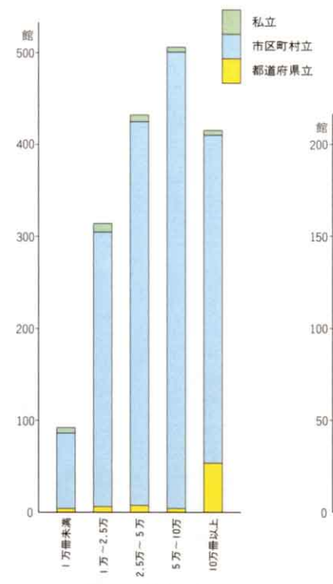
（学校基本調査報告書から作成）

学生数の推移
（大学院生を含む）



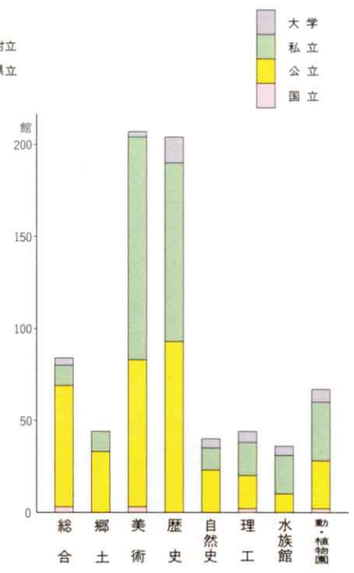
（学校基本調査報告書から作成）

蔵書数別・設置者別図書館数
（1987）



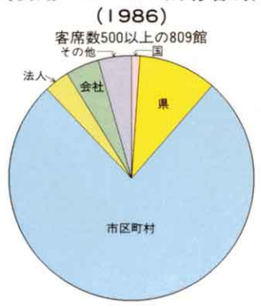
（日本の図書館から作成）

館種別・設置者別博物館数
（1987）
（登録博物館・博物館相当施設のみ）



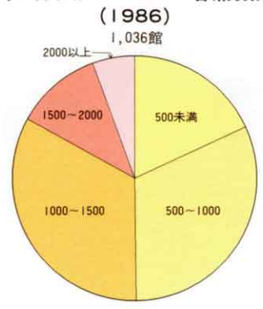
（博物館研究から作成）

市民会館・ホールの所有者別内訳
（1986）

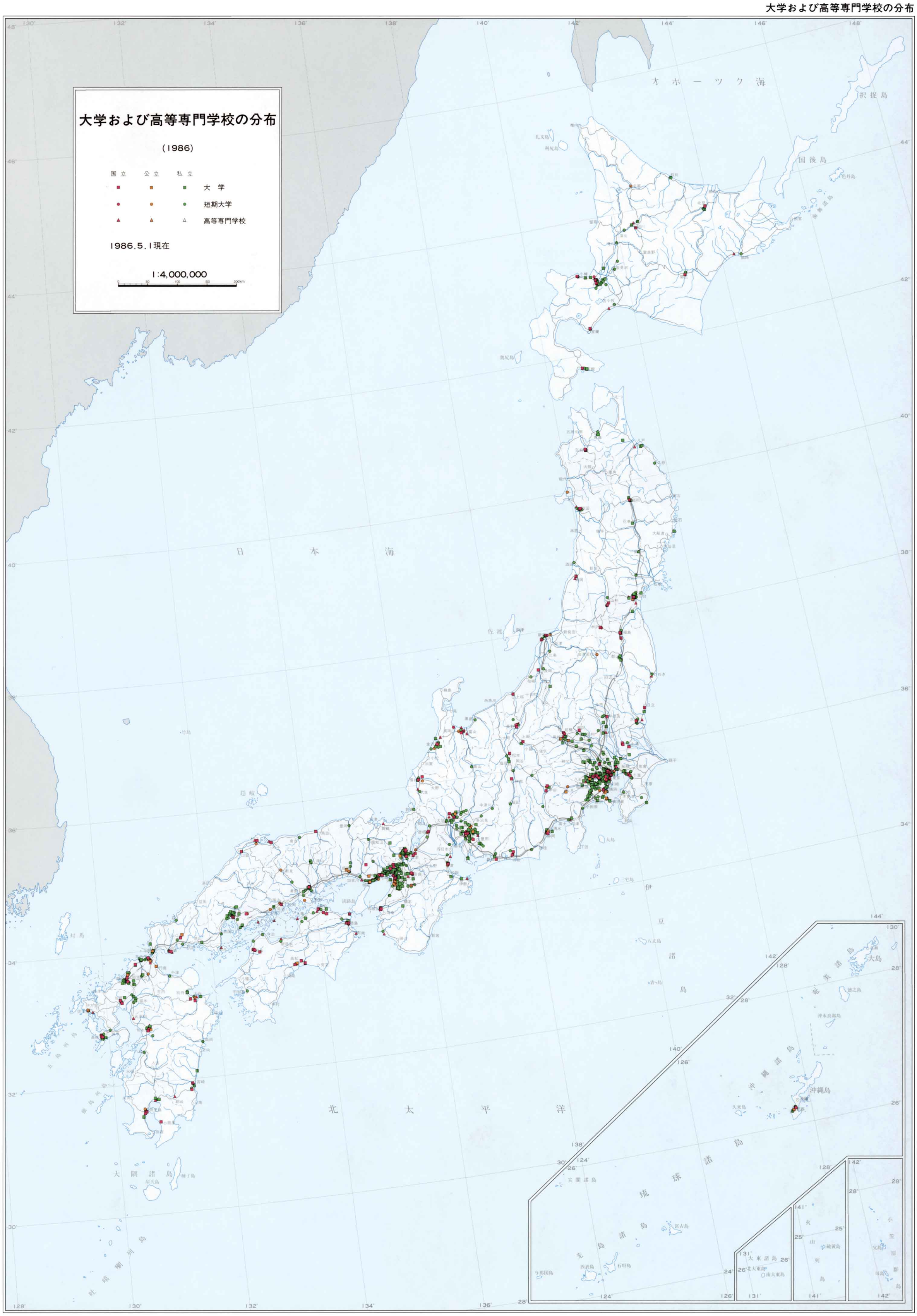


（全国ホール名鑑から作成）

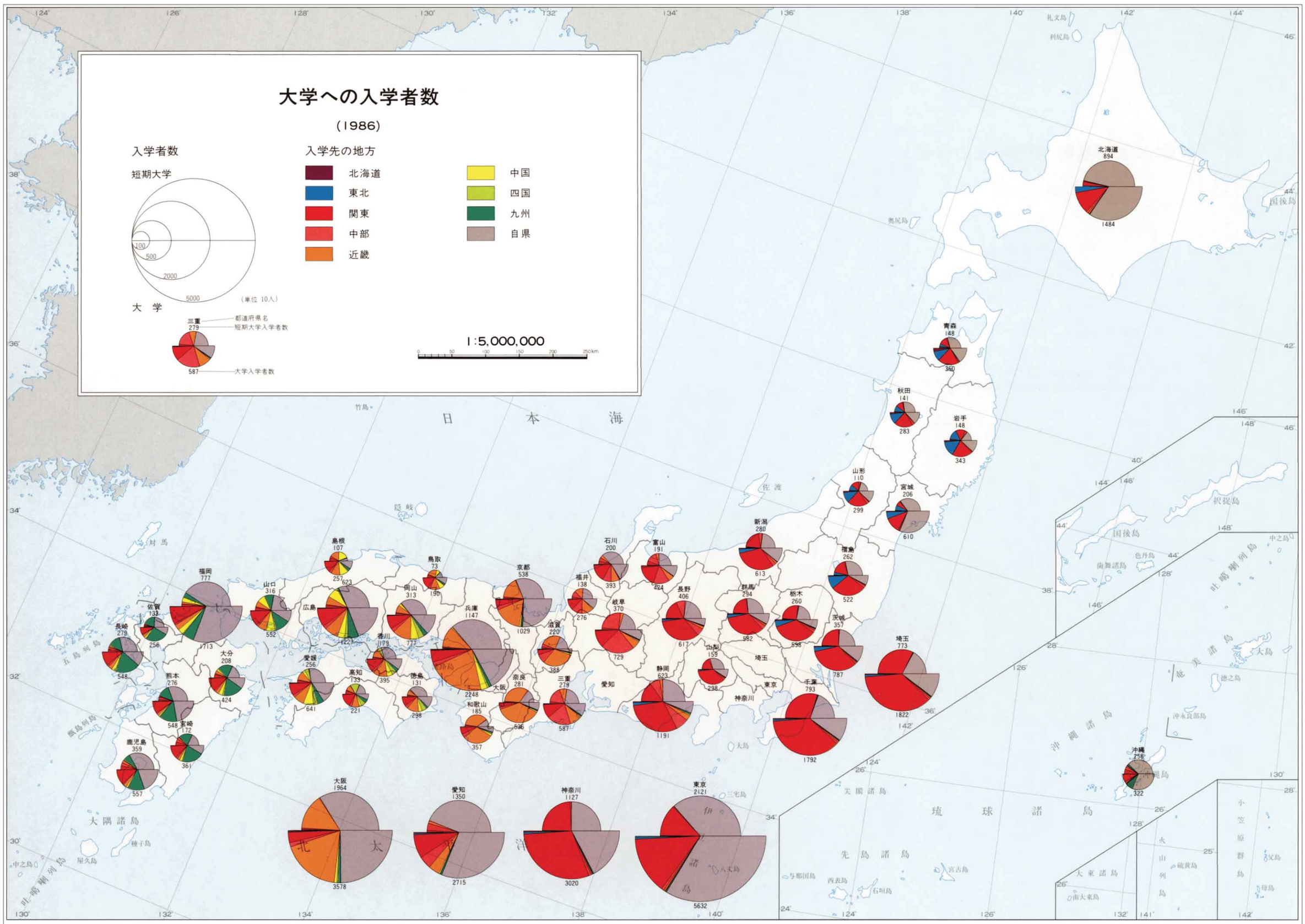
市民会館・ホールの客席数内訳
（1986）

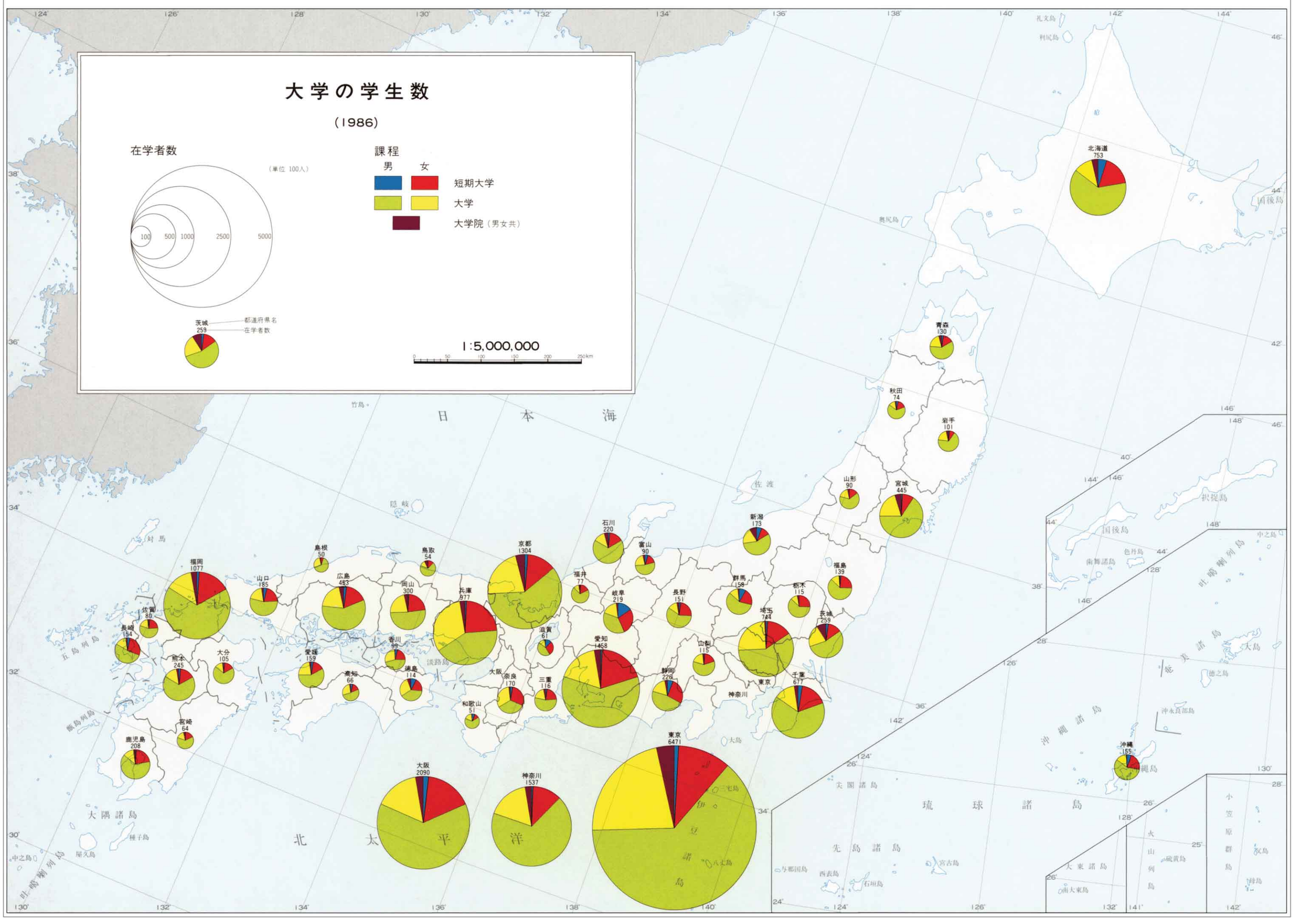


（全国ホール名鑑から作成）

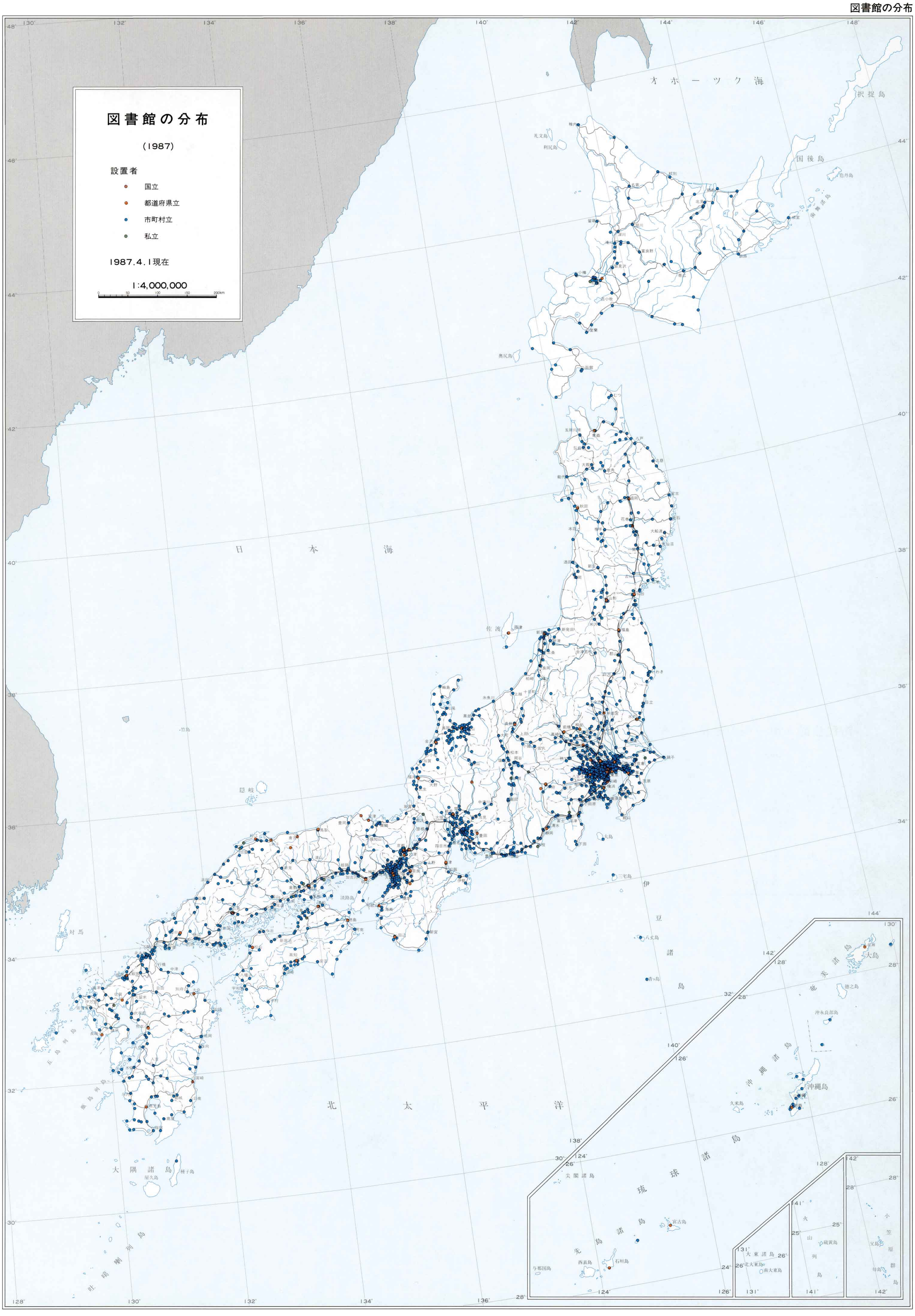
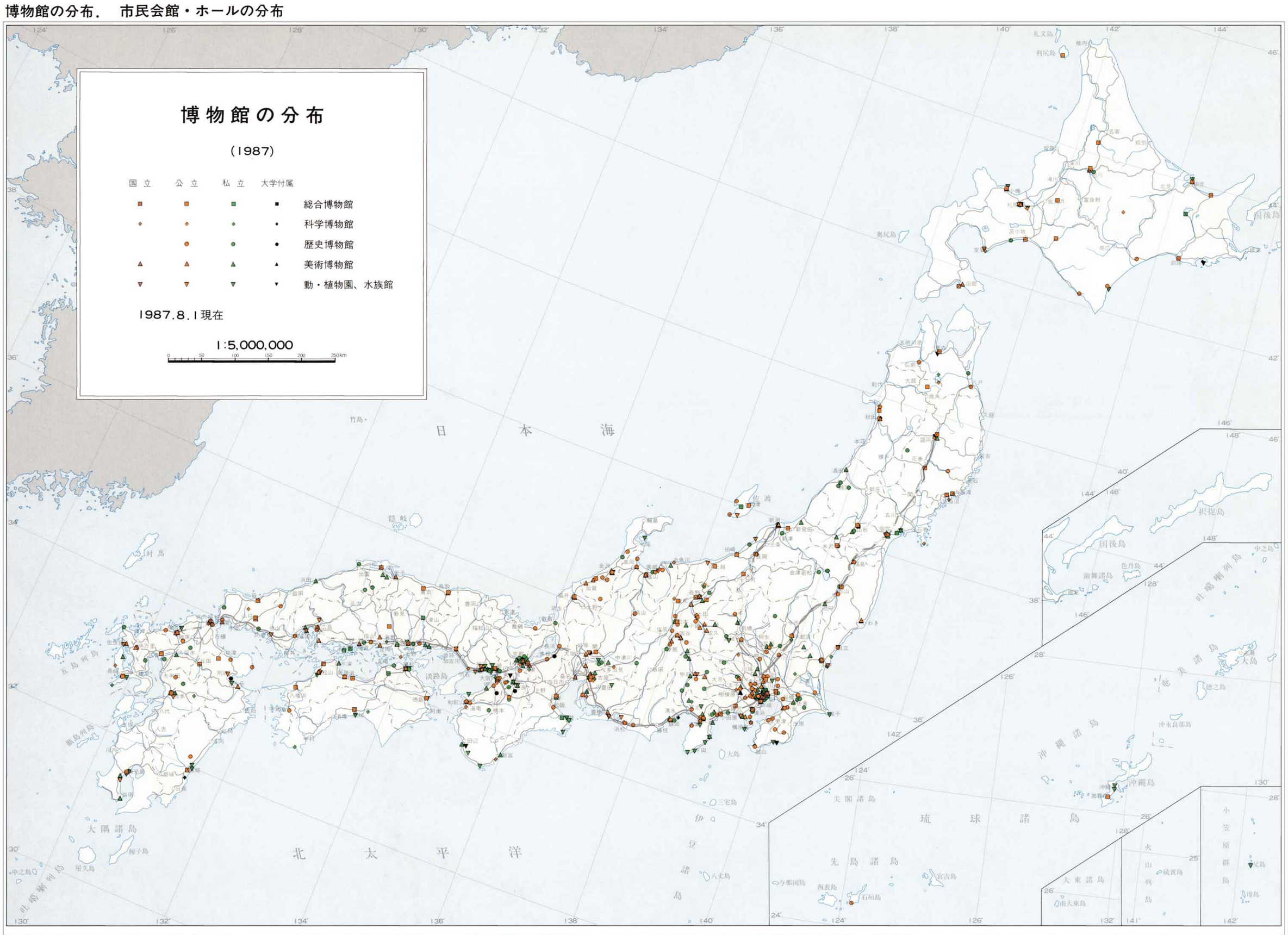
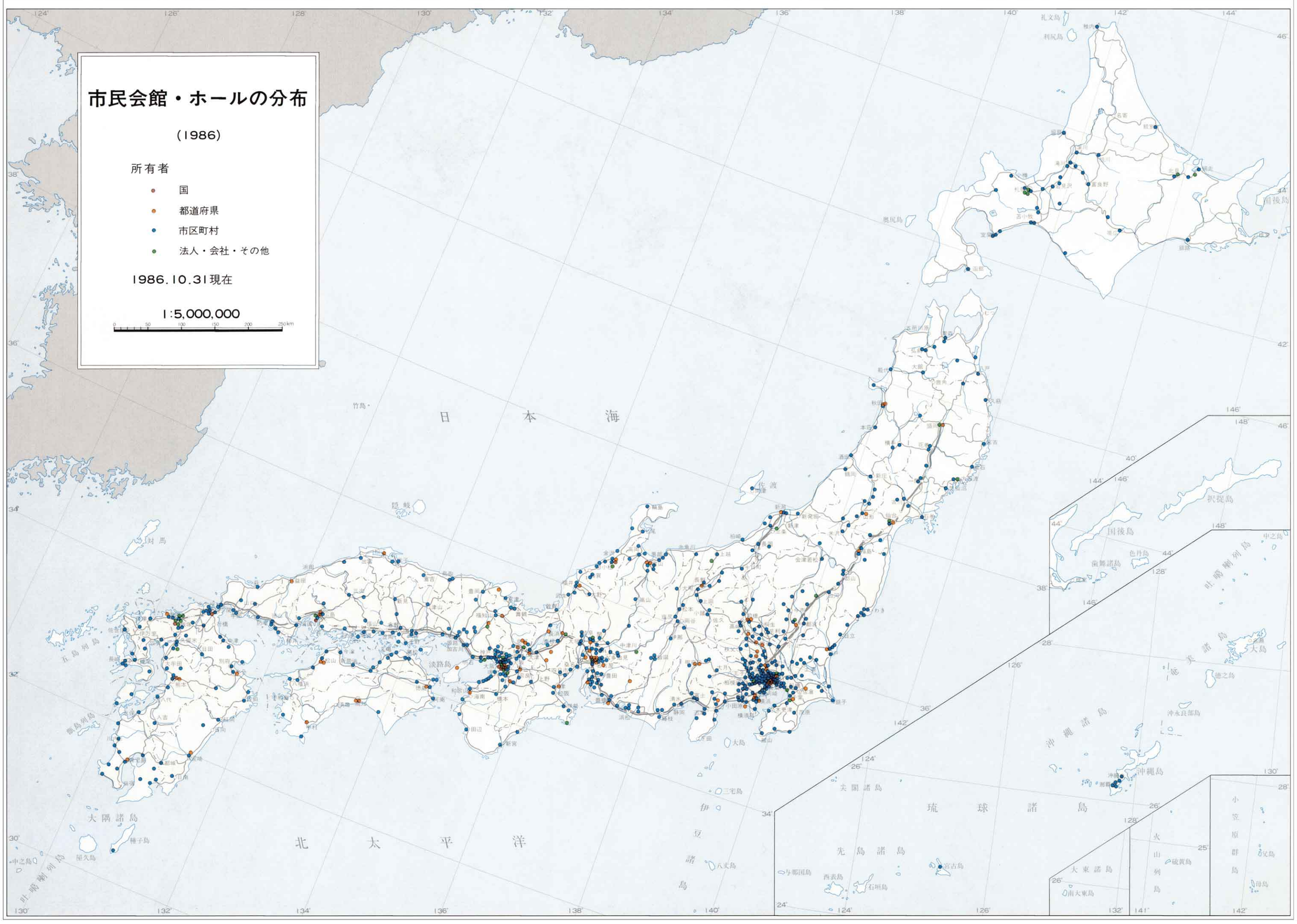

大学および高等専門学校の分布
(1986)
国立
公立
私立
大学
短期大学
高等専門学校
1986.5.1現在
1:4,000,000
オホーツク海
日本海
北太平洋
択捉島
国後島
色丹島
歯舞諸島
礼文島
利尻島
奥尻島
佐渡島
隠岐
竹島
対馬
五島列島
壱岐島
天草諸島
大隅諸島
種子島
屋久島
吐噶喇列島
伊豆諸島
大島
三宅島
八丈島
青ヶ島
小笠原諸島
父島
母島
硫黄島
南鳥島
沖縄諸島
沖縄島
久米島
宮古島
石垣島
西表島
与那国島
先島諸島
尖閣諸島
琉球諸島
大東諸島
北大東島
南大東島
火山列島
小笠原群島

48.2


大学への入学者数
(1986)
入学者数
短期大学
100
500
2000
5000
(単位 10人)
大 学
三重
279
587
都道府県名
短期大学入学者数
大学入学者数
入学先の地方
北海道
東北
関東
中部
近畿
中国
四国
九州
自県
1:5,000,000
日 本 海
北 太 平 洋
琉 球 諸 島
北海道
894
1484
青森
148
360
秋田
141
283
岩手
148
343
山形
110
299
宮城
206
610
新潟
280
613
福島
262
522
群馬
294
582
栃木
260
598
茨城
357
787
埼玉
773
1822
千葉
793
1792
東京
2121
5632
神奈川
1127
3020
愛知
1350
2715
大阪
1964
3578
石川
200
393
富山
191
424
福井
138
276
長野
406
617
岐阜
370
729
静岡
623
1191
山梨
159
298
滋賀
220
388
京都
538
1029
奈良
281
546
和歌山
185
357
三重
279
587
兵庫
1147
2248
鳥取
73
190
島根
107
257
岡山
313
777
広島
623
1221
山口
316
552
福岡
777
713
佐賀
133
256
長崎
279
548
大分
208
424
愛媛
256
641
香川
179
395
高知
133
221
徳島
131
298
熊本
276
548
宮崎
172
361
鹿児島
359
557
沖縄
258
322


大学の学生数
(1986)
在学者数
(単位 100人)
100
500
1000
2500
5000
課程
男
女
短期大学
大学
大学院（男女共）
茨城
259
都道府県名
在学者数
1:5,000,000
日 本 海
北 太 平 洋
琉 球 諸 島
北海道
753
青森
130
秋田
74
岩手
101
山形
90
宮城
445
新潟
173
福島
139
群馬
158
栃木
115
茨城
259
埼玉
744
千葉
677
東京
6471
神奈川
1537
山梨
115
静岡
226
愛知
1458
岐阜
219
長野
151
富山
90
石川
220
福井
77
滋賀
61
京都
1304
大阪
2090
奈良
170
和歌山
51
三重
116
兵庫
977
鳥取
54
島根
50
岡山
300
広島
453
山口
185
福岡
1077
佐賀
80
長崎
154
熊本
245
大分
105
愛媛
159
香川
99
徳島
114
高知
66
宮崎
64
鹿児島
208
沖縄
155

48.3


図書館の分布
(1987)
設置者
国立
都道府県立
市町村立
私立
1987.4.1現在
1:4,000,000
オホーツク海
日本海
北太平洋
択捉島
国後島
色丹島
歯舞諸島
礼文島
利尻島
奥尻島
佐渡
隠岐
対馬
竹島
伊豆諸島
八丈島
青ヶ島
小笠原諸島
大島
硫黄島
沖縄諸島
沖縄島
久米島
宮古島
先島諸島
石垣島
西表島
与那国島
尖閣諸島
大東諸島
南大東島
北大東島
大隅諸島
種子島
屋久島
トカラ列島
薩南諸島
五島列島
壱岐島
淡路島
三宅島
大島
伊豆諸島
八丈島
青ヶ島
小笠原諸島
父島
母島
硫黄島
火山列島
沖永良部島
与論島
奄美諸島
宮古諸島
八重山諸島
尖閣諸島

博物館の分布．　市民会館・ホールの分布